

萩・石見空港マラソン全国大会

第1回大会 平成20年（2008年）10月19日 （1）



開催15周年記念
1年15回マラソン大会
スタート

沿道（高津地区）で選手を応援する市民の皆さん

沿道（小野地区）で選手を応援する市民の皆さん

三谷こども太鼓バンビーノの皆さん

第1回萩・石見空港マラソン全国大会
走った！ 笑った！
気持ちいい！！

今年度は、開催15周年を記念して開催され、北は秋田から南はアメリカ合衆国ハワイ州までさまざまな方が参加されました。日本陸連の全部コースとなったハイマラソンをはじめ、2キロ、3キロ、5キロ、10キロ、ファミリーの部の6部門で実施。各部門とも駐車場をスタートし、滑走路を利用した部門別コースを走り、空港ターミナルビル前にゴールしました。

10キロの部には、ゲストランナーとしてハルセロナやアトラシタ五輪のメダリストの有森裕子さんが、またハイマの部には、招待選手として地元益田市出身の下森直さんが出走し、大会を盛り上げました。

また、大会前日には、日本陸連理事の湘古利彦さんを招き、前後祭が行われ、大会成功に向けて機運を高めました。

講演を下る 湘古利彦さん



全国から参加頂いた選手皆さんのエネルギーはもとより、朝早くからお手伝い頂いた約80人のボランティアスタッフの方々の頑張りと、そして沿道から応援してくださった地域住民の皆さんのご協力のおかげで大会は大成功に終わりました。



今回のボランティア活動は、いい経験になりました。最初はとまどっていましたが、あいさつをする、大きな声で通してくれたり、完走者にドリンクを渡す、「ありがとう」と声をかけられ、次第に楽しくなっていました。

今までは、ボランティアというのをしたことなかったのですが、大変だけど、楽しいのだと感じました。またボランティアをする機会があったら、ぜひやりたいと思います。

今回は自分にとって素晴らしい経験にもなったし、マラソン大会に参加された方にも喜んでいただけたのではないかと思います。

1年女子（委員、決断担当）

ゴール前で後続のランナーを励ます有森裕子さん



招待選手の下森直さん（セッケン1番）



最初は、「大変そうだなー」と思っていたボランティア体験でしたが、終わって思うところ、このボランティア体験はいい体験だったと思います。

その中でに残っているのは、応援をしている時に「頑張れー！やー！やー！やー！やー！」と応援してくれる人です。「応援している人が応援される感じがいいなあー」と思いました。選手の皆さんが手を振ってくれたり、笑ってくれたりとても嬉しかったです。

「ボランティアをするといらいふなかなか元気をもらえます」という先生の言葉が、今でもよく分かります。また、機会があればボランティアをしてみたいです。

2年女子（コミ拾い、応援係）

来年は、10月19日開催予定になっています。さらに、素晴らしい大会となるようみんなが盛り上げていきましょう。



10km 関門付近の給水所



萩・石見空港マラソン全国大会

第1回大会 平成20年（2008年）10月19日 （2）

